

# MR-100

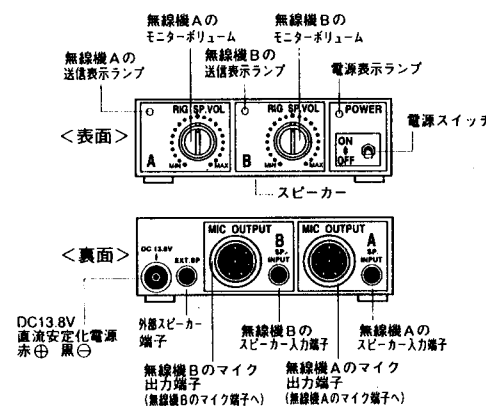
## マイクロレピーター

### 取扱説明書

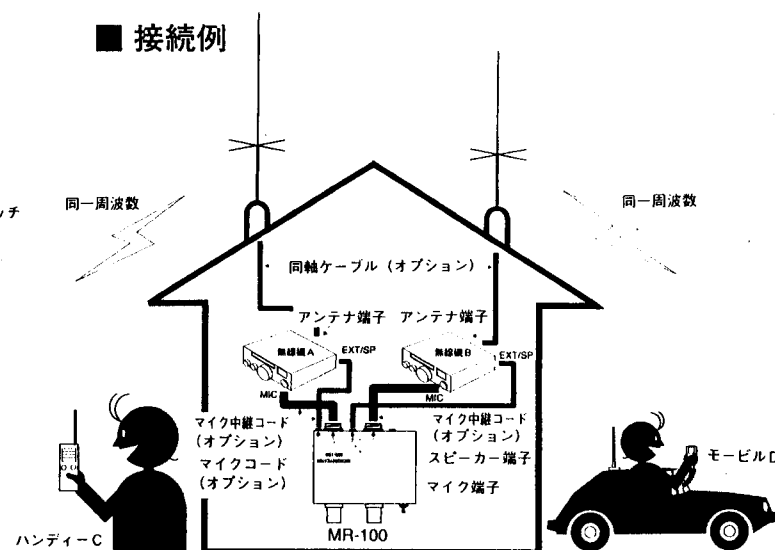
#### ■ 概要

本器を図のように接続します。たとえばハンディーCで送信すると基地局の無線機Aが受信し、本機を使用することにより無線機Bが送信状態となります。そして、その電波は固定局アンテナから発射されモバイルDが受信できます。このように、相互に周波数の違うバンドを利用して通信ができます。無線機Aと無線機Bの交信内容はMR-100の内蔵スピーカーでモニターすることもできます。使用する周波数は任意です。

#### ■ 各部の名称



#### ■ 接続例



#### ■ 接続方法

- MR-100の8P出力ジャックAと無線機Aのマイク入力ジャックを接続します。同じように8P出力ジャックBと無線機Bのマイク入力ジャックも接続します。各無線機のマイクコネクターに合わせた中継コードを使用します(アドニス製が便利です)。
- MR-100のスピーカー入力ジャックAと無線機Aの外部スピーカージャックを接続します。同じようにスピーカー入力ジャックBと無線機Bの外部スピーカージャックを接続します。

#### ■ 使用方法

- 上記の状態では無線機A、Bのボリュームとスケルチを左(反時計回り)に回しきります。
- 無線機Aのボリュームを少しずつ上げていくと無線機Bが送信になります。送信になった位置より少しボリュームを上げておきます。また、無線機Aのスケルチを少しずつ上げていくと、無線機Bが受信に切り替わります。受信に替わった位置より少しだけスケルチも上げておきます。
- ②と同様に無線機Bのボリュームとスケルチをセットします。
- 以上で、無線機Aが信号を受信すると、その信号を無線機Bによって送信します。また、無線機Bで信号を受信すると、その信号を無線機Aが送信します。
- 本器と無線機は出来るだけ離してご使用下さい。

#### ■ 注意事項

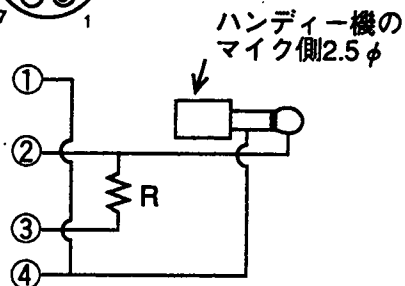
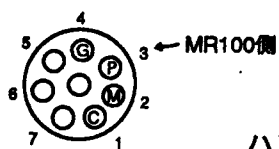
- MR-100の電源電圧はDC13.8Vです。
- スケルチツマミがない無線機では使用できません。
- MR-100と接続する無線機Aと無線機Bの周波数が高調波、イメージ関係にあると正常な動作をしないことがあります。
- 無線機が送信になるとき、または送信中に、スピーカー出力よりノイズやその他の音が出る無線機では使用できません。
- 本機内部などの改造、調整はしないようにしてください。
- 仕様および定格デザインは改良の為、予告なく変更することがあります。

Printed in Japan

## 接続のアドバイス (買う人)

- ・MR-100のマイクピンはアドニスと同じですので、アドニス製接続コードが便利です。
- ・ハンディーとの接続にはアドニス製P-8I (P-8T3ケンウッド用) に3.5φピンプラグ付きコード (※) を用意してください。

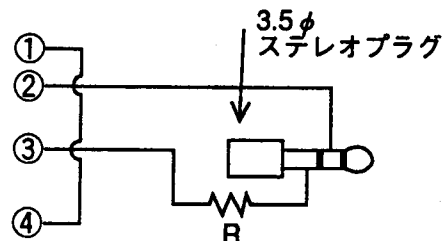
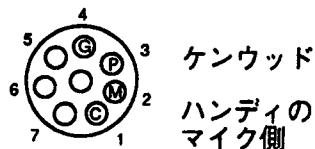
(作る人) 参考回路図です。



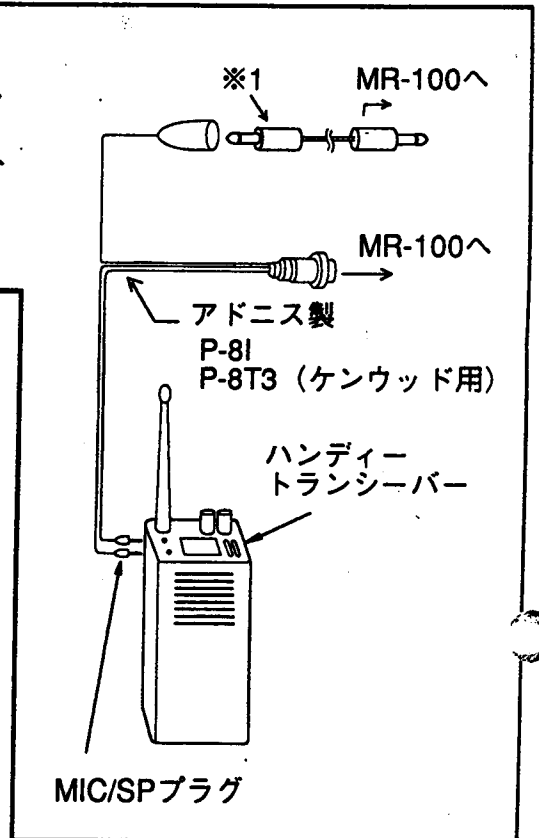
ヤエスR=1KΩ

マランツ、アイコムR=22K~33KΩ

●機種によってRが若干異なります。また、回路図はあくまでも参考資料です。



ケンウッド用R=33KΩ



## 設置する時のアドバイス

- ①周波数の設定によってお互いが干渉しあう事があります。(例 $144.08 \times 3 = 432.2$ ) この場合、少しずらして設定してください。また、必要最小限のパワーで運用することをオススメします。これでだいたいの場合うまくいきます。
- ②混信の多いときは、トーンスケルチやコードスケルチを利用すると便利です。